

生活支援コーディネーター発行

地域の支え合い通信

麻生、篠路炭戸、太平百合が原、拓北・あいの里
地区版



2023年



3月

第22号

こんな困りごと 思いあたりませんか？



電球の交換



大型ゴミ出し



高い所の物を取る

今、高齢化が進み、上のイラストのような、「ちょっとした困りごと」が増えています。他にも、話し相手、窓拭き、ついででの買い物、庭の手入れ、ゴミ出し、などお手伝いが必要な方が増えています。

無理せず、できることありませんか？

高齢者が安心して暮らすために、困ったときに力を借りたり、できることをお手伝いしたり、支え合いのある地域を「札幌市生活支援体制整備事業」では目指しています。その推進役として**生活支援コーディネーター**が配置されています。ちょっとしたお手伝いを通して、社会参加をしていくことで、介護予防も期待できます。無理をせず「ちょこっと」お手伝いできることありませんか？みなさんで、この取り組みを考えていくために、地域の集いの場、老人クラブなどで、ご説明させていただきます。生活支援コーディネーターまで、お気軽にお問い合わせください。

地域のようす～生活支援コーディネーターの活動から～

「地域に支え合いの輪を広げて行くため」に話し合う場「協議体」をご紹介します。「協議体」は、地域住民や関係機関などが集まり、地域の困りごとや、その解決方法を考えます。

令和5年2月14日(火)
太平百合が原地区で開催!!



太平百合が原地区社協の生活支援ボランティア組織「サポートたいゆり」と福祉関係機関（北区保健福祉課・北区第2地域包括支援センター・北区介護予防センター百合が原）による情報交換と「太平百合が原地区の生活支援を広げるために」をテーマに地域の皆さんで意見交換を行いました。ご近所さんとのおつきあい、お互い気かけあう関係が大切だご意見が出ました。「地域が、より住みやすくなるために」を考える有意義な時間となりました。

3月には麻生地区で開催します

地域で高齢者の活動に携わる方や、北老人福祉センターご利用の皆さんと「支え合いをひろげるため」について考えます。



生活支援体制整備事業は、住民だけではなく、民間企業や NPO、ボランティア、社会福祉法人など、地域にいるみんなが地域づくりを目指します。その連携を強化し、支え合いの仕組みづくりにつなげる集まりが「協議体」です。



【お問い合わせ先】

札幌市北区社会福祉協議会

札幌市北区北 24 条西 6 丁目北区役所 1 階 ☎757-2482

担当)生活支援コーディネーター 村井田